

Weekly Report



作者の言葉
我が百合丘ロータリークラブの活動は、地域社会の発展に貢献するために、日々努力を怠りません。皆様のご参加とご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

令和4年1月11日(火)
第2055回例会



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

◆ 会長/古澤 利夫 ◆ 幹事/山口 篤 ◆ 会報/平岡 勉

● 例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
● 例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

● 川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第2055回例会記録 令和4年1月11日(火) 18/48回

<点鐘> 古澤会長
<ソング> 奉仕の理想
<祝い事> 安藤美恵子親睦委員長
会員誕生 小島会員、笠会員、鈴木文夫会員、赤本会員
配偶者誕生 嶋会員、渡邊会員、山口会員の配偶者様
会員入会 渡邊会員、山口会員、中村会員



<会長報告> 古澤会長
先に、理事会報告です。
・下期地区資金、地区資本金の分担金を拠出することが承認されました。
・IM登録料拠出の件が承認されました。

・1/18 夜間移動例会は予定通り開催します。
ただし緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の場合は検討します。
以下、会長報告です。

1. RI会長杯ロータリーワールドゴルフ大会の案内事務局に資料がありますのでご確認下さい。
2. 新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム全大会(1/13)中止のお知らせ
3. 麻生区社会福祉協議会より地域の関係づくりの大切さを考える講演会の開催について
2/18(金)14:00～15:30
福祉パルあさお大研修室or Zoom
講演内容:「コロナ禍の地域福祉活動について」
4. しんゆり人2021年冬号送付の件
5. 第2回川崎・しんゆり芸術祭2022(アルテリッカしんゆり)実行委員会開催の報告
6. 「地域安全のための防犯パトロール研修会」の開催について
2/3(木)10:00～ 麻生区役所4F

<幹事報告> 山口幹事

*当クラブ例会

1/18(火) 職場訪問→夜間移動例会 点鐘17:30
アサオガーデン 笠会員による会員卓話

1/25(火) クラブ協議会

*近隣クラブ例会変更・案内 川崎西RC

第2057回	1月25日	クラブ協議会
第2058回	2月1日	会員卓話
第2059回	2月8日	クラブフォーラム

<ニコニコ委員会>

玉井委員

古澤会長→「オミクロンに注意しましょう」。山口幹事→「嶋会員、本日はよろしくお願ひします」。以下、感謝をこめてニコニコへ。赤本会員、阿久澤会員、安藤亨会員、安藤美恵子会員、青柳会員、福家会員、平岡会員、井上久会員、井上勇会員、嶋志田会員、菊池会員、北島会員、小島会員、小塚会員、中島眞一会員、野島会員、岡村会員、大矢会員、親松会員、佐々岡会員、佐藤会員、左藤会員、関田会員、嶋会員、白井会員、渡邊会員、結城会員、玉井会員。

<出席委員会>

青柳委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第2055回	46	32	14		69.57%
第2054回	46	30	16	3	71.74%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	30件	30,000円	463件	527,000円
財団	3件	52,000円	19件	333,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	112,000円
米山	1件	10,000円	15件	240,000円

<ロータリー財団委員会>

菊池委員

山口会員→「入会4年目になりました。これからもよろしくお願ひいたします」。福家会員、渡邊会員からも頂きました。

<米山奨学委員会>

安藤亨委員長

小島会員→「お祝ひありがとうございます」。

本日のプログラム

<委員会報告>

嶋委員



12月9日、メモワールプラザソシア21にて開催された2021-22年度地区ロータリー財団補助金管理セミナーに出席したので、そのご報告をさせていただきます。

最初に小倉ガバナーより挨拶がありました。その後、まず地区ロータリー財団活動について説明がありました。活動内容は以下の通りです。

・10/4、地区財団セミナー

・12/9、財団補助金管理セミナー

このセミナーに欠席すると補助金を受け取る権利がなくなります。

・ロータリー財団奨学生の面接

・地区補助金プログラムに対する支援

・グローバル補助金プログラムに対する支援

・ロータリー平和フェロー→2019-20年度は国際基督教大学の学生3名が活動しております。

・ロータリー財団学友の活動→12/5に学友報告会(成果を発表)が開催され70名程のロータリー会員が参加しました。

グローバル補助金の活用事例について、モンゴルにおける新生児死亡率改善活動が紹介されました。モンゴル助産師会へカテーテル、蘇生人形などを送り、その扱い方をリモートで伝えるというものです。

次にロータリー財団補助金の概要です。人道的、教育的奉仕活動を行う非営利法人がロータリー財団です。90%以上の資金が慈善事業に使われ、地区補助金としてクラブ奉仕プロジェクトや地区奨学生に、グローバル補助金として人道的プロジェクトやグローバル奨学生に使われます。またポリオプラス、ロータリー平和センタープログラムにも使われています。

地区補助金プロジェクトの申請については条件があります。まず補助金管理セミナーへの出席、地区とクラブの参加資格認定のMOUを会長、会長エレクト連署にて提出することです。

グローバル補助金の概要について説明します。グローバル補助金はロータリー重点分野(7件)のプロジェクトであることが条件です。MOUを締結し、異なる2ヶ国が提唱者となることが必要です。持続可能なプロジェクトであり、補助金を使い切った後も効果が持続する事、地域の人々が積極的に参加し、知識、スキルが向上すること、長期的な持続、測定可能な成果が上げられることが条件です。

以上が財団補助金管理セミナー報告となります。



<点鐘>

古澤会長